

団体名	太市の郷		
団体の所在地	姫路市	代表者名	崎谷 久義

1. 事業名	‘ふるさとの原風景再生プロジェクト’太市の郷
2. 実施期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
3. 主な実施場所	姫路市太市地域
4. 活動形態	・普及啓発活動 ・実践活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>竹の特質に見合った、持続できる竹林の整備活動・竹の利活用講習の活動・子どもたちの体験学習の応援活動の三つの事業計画を上げました。</p> <p>何れも竹林の整備保全から派生する有効な里山活用を図ることを企画しています。</p> <p>荒廃した竹林保全の活動は、会メンバーのほかに広く一般にも応援協力を呼び掛けた結果、年間延べ参加人員が 500 名を超える都市市民や行政からの助勢も得られて広範囲の整備ができました。</p> <p>竹の利活用事業は、活動の参加者たちと竹垣や竹細工づくり、伐採竹の粉碎物を様々な用途に試みる提案活動を行いました。また『竹の利活用を考える。』フォーラム＋展示会を催し、近畿を始め九州・中四国・北陸地方と地域を越えた広範囲なエリアから参加者が加わり白熱した会場になりました。</p> <p>子どもたちの体験活動の応援事業は、先記のフォーラム＋展示会場でも特設コーナーを設けて子達の参加を企てました。児童が竹ヒゴで作った和風や風車を展覧、昔の子どもが遊んだ竹細工の実習指導などを行った。また地域の子も園で『子ども＋祖父母の竹おもちゃ遊び』を開催し、竹がえし・竹けん玉・竹笛など生活の近辺で得た竹材で作ったおもちゃを皆で楽しんだ。</p> <p>竹林整備が捗ったエリアの自然環境で、竹林浴の散策・カブトムシ幼虫の採集・タケノコ掘りの体験・タケノコが竹に成長する観察をサポートするなど、環境学習の援助活動を繰り広げました。</p>
6. 成果・反響・反省点等	<p>荒んだ竹林が活動成果で明るい景観に蘇り、地域はもとより付近を経過する車や鉄道列車の乗客からも感嘆の声が上がります。評価を得たことは嬉しいことです。</p> <p>ただ竹林保全は、整備後にも新たな竹が猛威を振るうように生えてきます。手を止めると、直に元の荒廃状態に戻る手強いもの。一過性の作業では收拾しません。持続的に行うための活動員確保や資金など、今後に残る難問は山積しています。地道で根気づよい活動こそがパワーを持つと思います。</p>
7. 成果物	なし

8. 活動写真・説明	  
	<p>竹林の整備</p> <p>子ども達の体験学習の応援</p> <p>竹の利活用を考えるフォーラム</p>